～企業IR＆個人投資家応援イベント～

個人投資家様向け
会社説明会

株式会社　淺沼組

東証プライム市場　｜　**1852**

2025年8月2日

目次

1 会社概要

1. 会社概要 p.4
2. 沿革 p.5
3. 創業理念 p.6
4. 事業概要 p.7

2 中期3ヵ年計画（2024～2026年度）KPI・施策の進捗状況・業績計画

1. TOPICS p.12
2. 中期3ヵ年計画のテーマ p.13
3. テーマ毎のKPIの進捗 p.14
4. テーマ毎の取り組み p.15
5. 業績計画 p.22

3 株主還元 p.24

Appendix p.26

© 2025 Asanuma Corporation.

1 会社概要

© 2025 Asanuma Corporation.

1. 会社概要

浅沼組について （2025年3月31日時点、連結ベース）

創 業	従業員数	平均勤続年数*1
133年	1,796名	22.0年
関連会社*2	**売 上**	**営業利益**
11社	1,670億	68億

商号	株式会社 浅沼組	代表者名	代表取締役社長 浅沼 誠
創業	1892(明治25年)1月 20日	会社設立	1937(昭和12年)6月 15日
資本金	96億 1476万円	従業員数	連結:1,796名 個別:1,261名
関連会社	•浅沼建物 株式会社 •SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE.LTD. •EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD •ASANUMA CONSTRUCTION LTD., INTERNATIONAL •THAI ASANUMA CONSTRUCTION CO.,LTD. •THAI ASANUMA HOLDINGS CO.,LTD. •AND B.V.	【以下はPFI事業*3】 •宇都宮郷の森斎場 株式会社 •桜井給食ファシリティーズ 株式会社 •小田原斎場PFI 株式会社 •長泉ハイトラスト 株式会社	

*1 個別ベース *2 非連結も含む *3 公共施設等の建設、運営および維持管理等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う事業手法

© 2025 Asanuma Corporation.

2. 沿革

江戸

1692（元禄5）
5代将軍徳川綱吉公の大老 柳澤吉保が武蔵国川越城を賜り、“城持ち大名”となった際に、初代淺沼仁左衛門が普請方を務める

1724（享保9）
大名 柳澤吉里の甲府から大和郡山への転封に際し、初代淺沼仁左衛門も普請方として随伴

以降、初代淺沼仁左衛門から8代目の淺沼幸吉まで、大和郡山藩の普請方を務める

明治維新後、淺沼幸吉は大和郡山にとどまり、大工の棟梁として奈良付近の名刹社寺の造営や修繕、学校の建築などに従事する

明治

1892（明治25）
創業
淺沼幸吉が、現在の奈良県大和郡山市に建築請負業の看板を揚げ、「淺沼組」を創業

大正

1926（大正15）
大阪へ進出

昭和

1937（昭和12）
会社設立
株式会社淺沼組を設立
社員数62名

1939（昭和14）
東京・名古屋へ進出

1963（昭和38）
株式上場（大証二部）

1969（昭和44）
大証一部への指定替えを経て東証一部へ上場

1977（昭和52）
完工高が1,000億円を超える

平成

1992（平成4）
創業100周年
Asanumaロゴの導入、企業コンセプト刷新

令和

2021（令和3）
建物の価値を高める淺沼組リニューアル事業ブランド『ReQuality』を立ち上げ
創業130年にあたり、環境と健康を強く意識しつつ、「空間の質」「生活の質」を再構築する弊社独自技術の提案・採用を推進

2022（令和4）
創業130周年
東証プライム市場に移行

■ 大阪万博プレスセンター（1969年）

■ 株式会社設立時から創業100周年まで使用していた社章

■大阪・関西万博　オランダパビリオン（2025年）

■ 奈良県立畝傍中学校（1896年）

■ パラオ 西太平洋戦没者の碑（1985年）

■京都大学稲盛財団記念館（2008年）
第51回BCS賞受賞

© 2025 Asanuma Corporation.

3. 創業理念

淺沼組の創業理念は、創業者である淺沼幸吉の「仕事が仕事を生む」という事業に対する信念を実現するために創業以来変わることなく受け継がれてきたものです。この信念は、立派な仕事をすることで会社の信用が生まれ、その信用こそが次ぎの仕事をいただく最大の資本になるという信念を意味することばです。

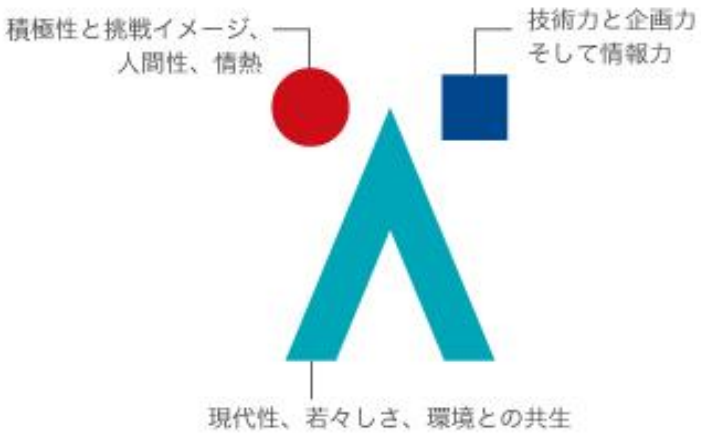
「和の精神」

- 何事にも、皆が協調性を以って取り組むこと、しかし、決してむやみに同調するのではなく、個々が主体性を失わず、自らも他人にも正直に、互いの考えをぶつけ合い、尊重し、理解しあうこと

「誠意・熱意・創意」

- 私利私欲を離れ、正直に熱心にことにあたる心（誠意）
- 何事に対しても常に挑戦する気持ち（熱意）
- 常に新しく独創的な考えを持つ意識（創意）

コーポレートマークについて

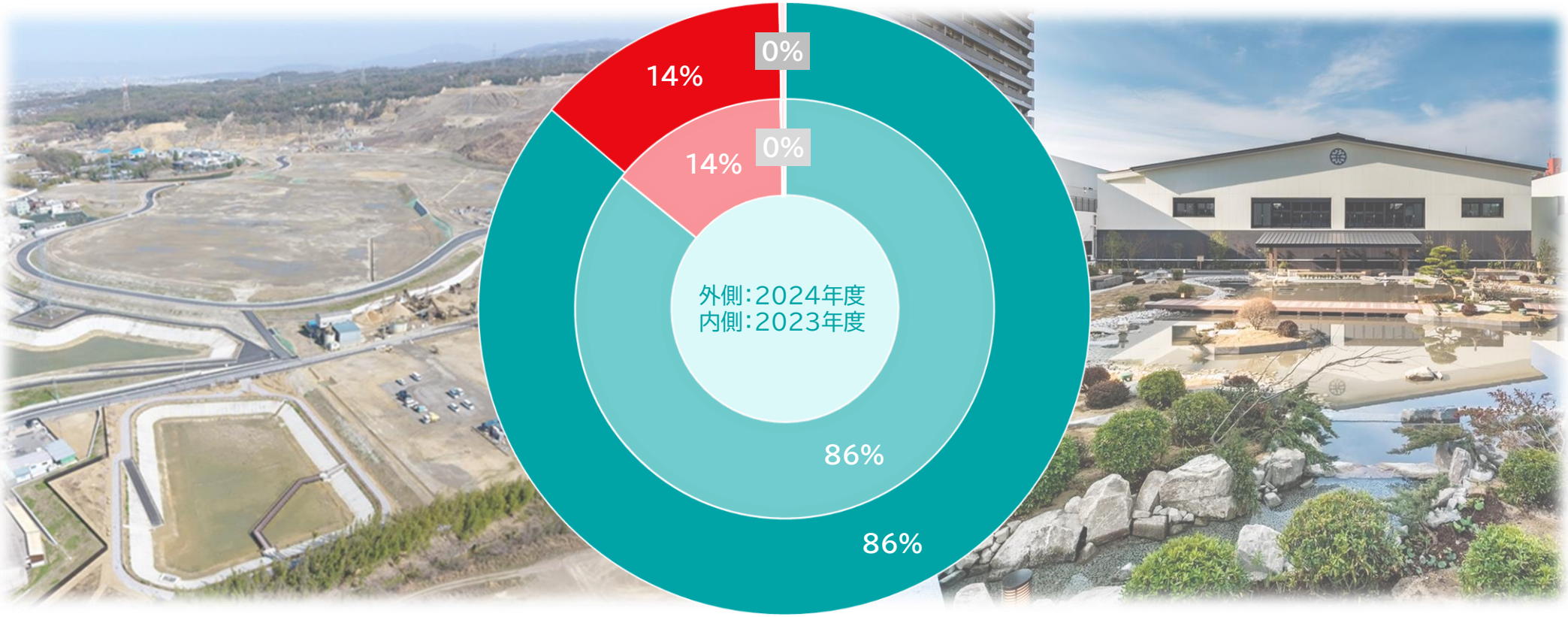


企業理念イメージ

© 2025 Asanuma Corporation.

4. 事業概要（国内）

事業ポートフォリオ〔完成工事高（個別）の内訳〕



事業別完成工事高

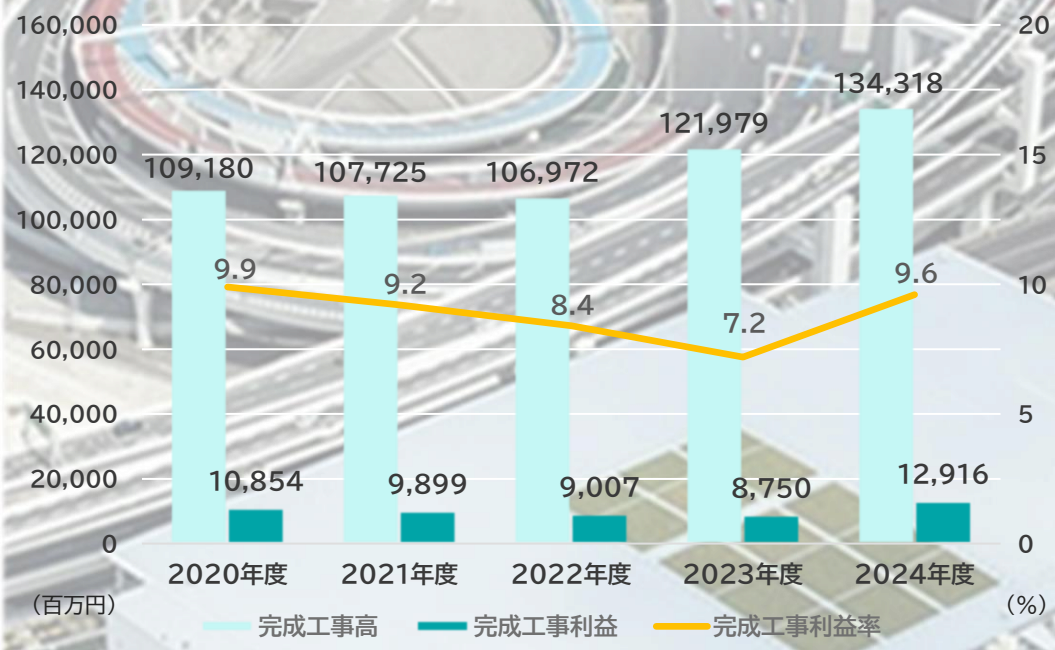
（単位：百万円）

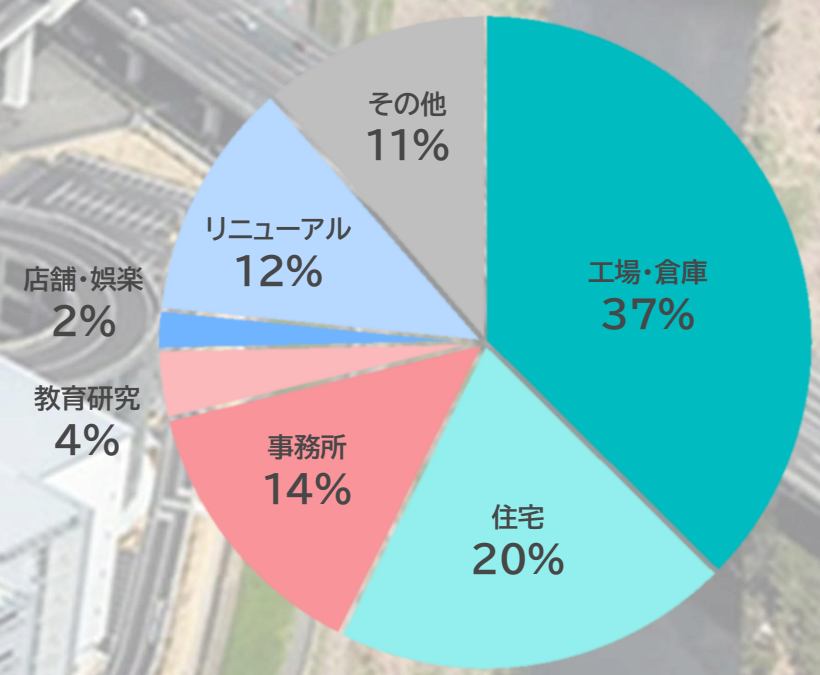
	2023年度	2024年度
建築事業	121,979	134,318
土木事業	19,757	20,957
その他	419	445

© 2025 Asanuma Corporation.

4. 事業概要　①建築事業（国内）*1

完成工事高・用途別（2024年度 個別建築売上1438億円の内訳）





建築事業（国内）	（百万円）
工場・倉庫	53,835
住宅	28,635
事務所	19,933
教育研究	4,946
店舗・娯楽	2,818
リニューアル	17,285
その他	16,371
合　計	143,828

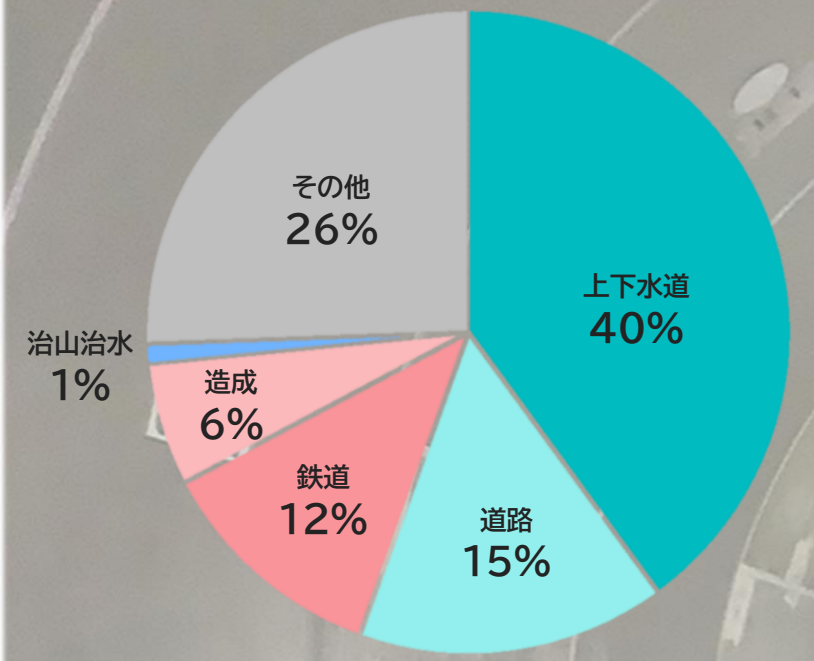
DPL新横浜I（神奈川県）2022

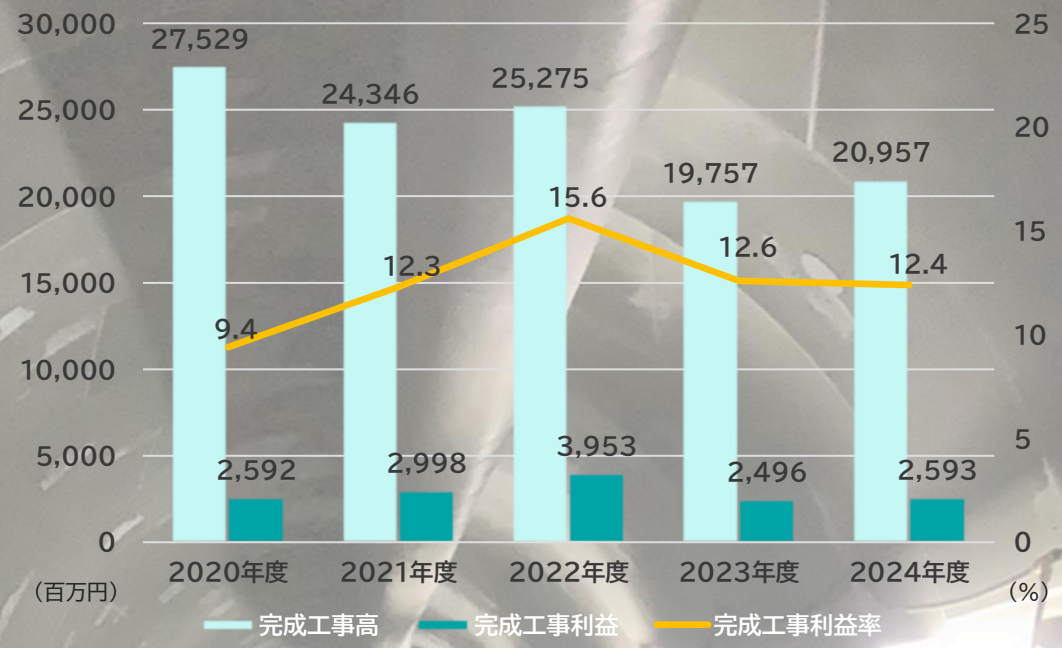
*1 グアム営業所の完成工事高834百万円も含まれておりますが、それ以外は国内の建築となります

© 2025 Asanuma Corporation.

4. 事業概要　②土木事業（国内）

完成工事高・用途別（2024年度 個別土木売上255億円の内訳）





土木事業（国内）	（百万円）
上下水道	10,193
道路	3,957
鉄道	3,004
造成	1,574
治山治水	254
その他	6,521
合　計	25,506

八王寺川バイパス管築造（大阪府）2022

© 2025 Asanuma Corporation.

4. 事業概要　③海外事業

シンガポール

名　称	事業内容	取　得
SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.	建物塗装 修繕工事	2018年10月
EVERGREEN ENGINEERING＆CONSTRUCTION PTE. LTD.	建物メンテナンス 電気・設備工事	2022年1月

SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.
建物塗装・修繕工事請負業
資本金:41百万円　出資比率:80%

（単位:百万円）

（損益）	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	計画比 %
売上高	3,400	3,358	3,758	+4.4
営業利益	32	392	284	+35.7
経常利益	65	397	307	+39.9
当期純利益	55	333	255	+38.2
（貸借）	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	計画比 %
総資産	1,301	2,558	2,521	―
有利子負債	49	135	―	―
純資産	574	958	1,294	―

EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD.
設備工事業、建物メンテナンス業
資本金:389百万円　出資比率:100%

（単位:百万円）

（損益）	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	計画比 %
売上高	7,485	6,426	6,708	+13.7
営業利益	1,217	1,638	895	+6.6
経常利益	1,300	1,753	1,058	+15.0
当期純利益	1,074	1,449	891	+16.5
（貸借）	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	計画比 %
総資産	4,060	4,979	6,800	―
有利子負債	―	―	―	―
純資産	2,190	3,833	5,047	―

タイ

名　称	事業内容	設　立
Thai Asanuma Holdings Co.,Ltd.	持株会社	2021年6月
Thai Asanuma Construction Co.,Ltd.	高速道路・橋梁の メンテナンス	2021年7月

グアム

名　称	事業内容	設　立
Asanuma Corporation グアム営業所	建築土木請負	1976年

© 2025 Asanuma Corporation.

2 中期3ヵ年計画（2024～2026年度）

KPI・施策の進捗状況・業績計画

© 2025 Asanuma Corporation.

1.TOPICS

- 大阪・関西万博にて施工を担当したオランダパビリオンが無事竣工。2025年4月13日に開幕を迎えた
- オランダパビリオン建設のリアルストーリーを特設サイトにて公開中
- オランダパビリオンの移築に関する基本合意書も締結。2025年5月20日付でプレスリリース

オランダパビリオン建設　特設サイト

特設サイト「大阪・関西万博オランダパビリオン建設 挑戦の数が未来を創る「チーム淺沼組」の軌跡」では、当社がオランダパビリオン建設に至った背景や、設計から施工、そして建物完成までの舞台裏をストーリー形式で紹介するほか、プロジェクトに携わった社員のパビリオン建設への想いや、それぞれのフェーズでの挑戦などを振り返った動画コンテンツを掲載しています。

オランダパビリオン建設特設サイト　URL、QRコード
https://www.asanuma.co.jp/expo2025/

移築について

オランダパビリオンの移築に関し、AND B.V.*1と㈱パソナグループとの間で基本合意書を締結しました。当社は、AND B.V.の一員として本移築プロジェクトに携わっており、さらには施工者としても参画する予定です。

本移築プロジェクトは、当社が推進する環境配慮や人への健康に資する取組み「GOOD CYCLCE PROJECT」の理念にも合致しております。

今後、関係各所と協議を進めてまいります。

2025年5月20日付 プレスリリース　URL、QRコード
https://www.asanuma.co.jp/news/index_news_pdf/20250520n.pdf

*1 日蘭の企業からなるコンソーシアム（共同事業体）。オランダの建築事務所「RAU」、体験型デザインスタジオ「Tellart」、エンジニアリング・コンサルタント会社「DGMR」、および当社の4社で構成される

© 2025 Asanuma Corporation.

2. 中期3ヵ年計画のテーマ

- 3ヵ年で注力することとして、6つのテーマを選定

国内建設業界を取り巻く環境
- 高齢化・人材不足
- 長期的な建設投資の減少
- サステナビリティ経営の要請の高まり

1 国内コア事業の強化
建築*1・土木事業のより戦略的・効率的な展開を図る

2 リニューアル事業の強化
前中期3ヵ年計画にて旗揚げ・強化した国内・海外リニューアル事業のレベルアップ

3 人材の獲得・確保・育成
より活力ある組織となるために

4 DX推進
快適・効率的な業務の実現

5 ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化
全てのステークホルダーに安心していただくために

6 環境・社会への貢献
自然・社会の一員として

長期ビジョン*2
「顧客・協力会社、株主、社員の満足度の向上、および地球環境・社会への貢献に邁進する企業」

創業理念
「和の精神」「誠意・熱意・創意」

*1 主に建築（新築）を指す
*2 創業140年時点（2031年度（2032年1月20日））でありたい姿。2024年4月より長期ビジョン・理念・方針などを修正。詳細はP.29を参照

© 2025 Asanuma Corporation.

3. テーマ毎のKPIの進捗

- 各テーマにおいてKPIを設定。2024年度実績は、2026年度末目標に向け良好な水準。一部目標達成しているテーマもあるが、引続き同水準を維持

	テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI		2026年度末目標	2024年度実績	2024年度実績に関する補足
1	国内コア事業の強化	顧客満足度スコア		80点以上（直近2期平均）	79.9点 ※2023・2024年度平均 ※3月末時点受領分より算出	・前年に引き続き、高水準で維持（前年比+0.2点）
2	リニューアル事業の強化	連結営業利益におけるリニューアル営業利益		40%以上	45.3%	・2023年度の国内リニューアルにおいて、大型案件や利益率良好な案件を受注し、2024年度営業利益に寄与
3	人材の獲得・確保・育成	エンゲージメントスコア		70点以上	69.6点	・前年比+1.4点 ・「今の会社で働くことができて本当に良かったと思う」等のエンプロイーエンゲージメント項目においてスコアが上昇
4	DX推進	労働1時間あたりの売上総利益		6,000円以上	6,722円	・労働時間の減少および売上総利益の上昇
5	ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化	重大な法令違反件数		0件	0件	・コンプライアンス教育に注力 ・DXを活用した安全教育を実施
		死亡災害		0件	0件	
6	環境・社会への貢献	CO2排出量総量削減率	スコープ1+2	△75%（1990年度比）	△74%（1990年度比）	・スコープ1+2は順調に進捗。 ・2024年度の引渡件数の減少によりカテゴリ11は大幅に減少。これは工事の大型化に伴う工期の延長化による一過性の事象。
			スコープ3 カテゴリ11	△8%（2021年度比）	△47%（2021年度比）	

© 2025 Asanuma Corporation.

4.テーマ毎の取り組み（1/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み

1 国内コア事業の強化

- **選別受注の強化**
  受注時利益率や作業所の4週8閉所、施工体制等を確保できる受注の獲得に努める「選別受注」を一層強化し、受注後の利益低下を防止
- **フロントローディング、提案力の強化**
  環境配慮型の独自技術の開発を強化し、これら技術を顧客等に向けわかりやすく整理、メニュー化
  ➡ 社内での意識醸成と顧客からの評価を獲得し、提案案件の増・利益率増に寄与

  土木部門における技術設計・工務の全国統括部署と、総合評価案件情報を集約する部署を新設
  ➡ 提案力の強化を図る

  建築部門における組織再編を行い、GOOD CYCLE SERVICE部を設置
  ➡ 建物管理および竣工引き渡し後のアフターメンテナンスを強化

（単体　建築・土木　完成工事利益率推移）

	2022年度	2023年度	2024年度	
（単位:百万円）	実績	実績	実績	前期比
完成工事高（建・土）	132,247	141,737	155,275	+13,538
完成工事利益	12,961	11,246	15,510	+4,263
同利益率	9.8%	7.9%	10.0%	+2.1P

中期3ヵ年計画の施策

- 受注と施工のバランス確保
- 作業所業務支援体制の強化
- フロントローディングの実施（設計・積算の強化）
- 注力・得意分野の追求と開拓
- 品質確保・向上に向けた仕組みの強化
- 協力会社との協働強化

© 2025 Asanuma Corporation.

4.各テーマの取り組み（2/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
2 リニューアル事業の強化	

◆ なぜリニューアル事業に注力するのか

- **環境配慮・モノへの愛着**：CO2削減・技術提案
- **需要の確保**：中長期的な人口減少 中規模ビルの改修増
- **高い利益率**：建築当初の図面がなく工事が難しい。追加工事も有

◆ 当社の優位性

- **手頃な案件サイズ**：大手ゼネコンが入りにくい
- **技術力**：技術研究所を保有

名古屋支店改修プロジェクト

WELL認証GOLD・
ZEB Ready認証取得
グッドデザイン・ベスト100など、
国内外で18個の賞を獲得

広島支店エントランス等をリニューアル

© 2025 Asanuma Corporation.

4.各テーマの取り組み（2/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
2 リニューアル事業の強化	

2 リニューアル事業の強化

• 独自技術を用いたリニューアル提案

当社独自技術を用いたリニューアルを顧客宛に提案し、採用されたもの

土壁左官工法を活用し、パネルを製作。色も調整が可能で、発注者様のロゴも土壁にて再現

https://www.requality.jp/service/advance/335/

株式会社佐藤渡辺 様　三郷営業所改修工事

廃プラスチックを高温焼成し、デコラ調の板を成形、テーブルの天板に張り付け

https://www.requality.jp/service/advance/636/

廃プラスチックを活用したアップサイクル

• 国内リニューアル

（単位:百万円）	2023年度	2024年度	
	実績	実績	前期比
売上高	19,887	24,193	+4,305
営業利益	1,115	2,311	+1,195
（同率）	5.6%	9.6%	+3.9P

• 海外リニューアル（リニューアル子会社2社業績）

（単位:百万円）	2023年度	2024年度	
	実績	実績	前期比
売上高	9,785	9,679	▲105
営業利益*1	1,683	798	▲884
（同率）	—	—	—

中期3ヵ年計画の施策

- リニューアル事業ブランド「ReQuality」の強化
- ASEAN地域のリニューアル事業の強化
- 自然素材による技術研究所ZEB改修
- リニューアル関連技術の実用化・促進（高度な建物劣化診断技術等）

*1 のれんを差し引いた金額。KPIの値の構成要素としての海外リニューアル営業利益は、のれんを差し引いた数値を用いているため

© 2025 Asanuma Corporation.

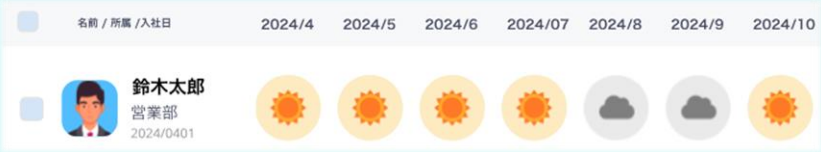
4.テーマ毎の取り組み（3/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
3 人材の獲得・確保・育成	

- **【獲得】**
  初任給を30万円に引き上げ
  人材確保強化に向け、4年連続の賃上げも実施
  佐賀大学とネーミングライツパートナー契約を締結
  知名度アップの効果が期待できることにあわせて、
  教育研究環境への貢献役割も

愛称名 「あさぬま ホール」
佐賀大学 理工学部6号館 1階コミュニケーションホール

- **【獲得・確保】 奨学金返還支援制度を導入**
  社員の奨学金を会社が一部負担。奨学金を返済しながら働く社員の負担を軽減する施策により、
  より魅力的な企業として選ばれることを目的として導入
- **【確保】**
  離職予防ツール（HR OnBoard）を導入
  天気スタンプ回答型ウェブアンケートツール。
  離職リスクの可視化と予防を実施
  作業所の4週8閉所を推進



- **【育成】 研修の充実化**
  新入社員研修の長期化・充実化、およびキャリア形成を促す研修の新設

中期3ヵ年計画の施策

- 採用施策の強化
- 多用な人材の確保
  （女性、外国籍、高年齢者等）
- 休暇取得・残業縮減の推進
- 作業所の労働環境の改善、閉所の推進
- 研修内容の見直し、強化
- 当社のブランディング・PRの強化

© 2025 Asanuma Corporation.

4.テーマ毎の取り組み（4/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
4 DX推進	

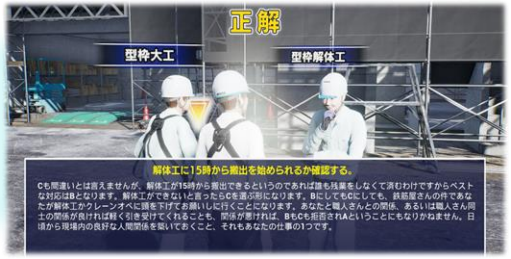
- **経済産業省が定める「DX認定事業者[*1]」の認定を取得**
  2025年3月1日付けで、“DX認定”を取得。
  DX人材の育成をはじめとし、DXを強化していく

DX認定

- **若手社員向け体験型現場教育システム『現場トレーナー』を他社と共同開発**

若手社員の教育をDXにて拡充

バーチャル現場内で社員アバターを操作し、問題点や注意すべき点等を発見、クイズ形式で学習



- 主なDX施策の進捗

施策	2024年度	2025年度	2026年度
業務用スマホの全社導入	検討・準備 → 運用	運用	運用
現場用チャットツールの導入	運用	運用	運用
文書管理システムの開発・導入	検討・準備 → 運用開始	運用	運用
作業所OAの刷新	検討・準備 → 運用	運用	運用
経費管理システムの導入	検討・準備	検討・準備 → 運用	運用
請求書システムの導入	検討・準備	検討・準備 → 運用	運用
DX人材育成のための研修	検討・準備	検討・準備 → 運用	運用

中期3ヵ年計画の施策

- DX推進体制の強化
- 施工・品質・安全管理におけるDX推進
- 管理業務・社内業務におけるDX推進
- 先進IT技術実現に向けた情報収集・試行
  （RXコンソーシアム[*2]での活動）
- BIM・CIM[*3]の更なる活用

*1 DX認定事業者とは、デジタル技術による社会変革に対して経営者に求められる事項をとりまとめた「デジタルガバナンス・コード」に対応し、DX推進体制が整備されている企業を国が認定する制度
*2 施工段階で必要となるロボット技術やIoT関連アプリケーション等の技術の共同開発、既開発技術の共同利用、情報提供・発信をする組織。正会員29社、協力会員262社からなる（2025年5月21日現在）
*3 Building Information Modeling、Construction Information Modeling。3次元建物モデルに属性情報を持たせたもの。企画・設計・施工・維持管理等にて一貫して使用可能

© 2025 Asanuma Corporation.

4.テーマ毎の取り組み（5/6）

テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
5 ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化	

- **【ガバナンスの強化】**
  役員報酬決定方針の改定、指標（営業利益、ROE、ROIC）を導入
  中間配当制度を導入（配当基準日：毎年9月30日）
  株式分割（5分割）を実施（効力発生日：2024年8月1日）
  当社株式の投資単位金額を引き下げることにより
  株式の流動性を向上

ラジオNIKKEI＆プロネクサス共催
企業IR＆個人投資家応援イベント
（神戸会場の様子）

株主・投資家とのコミュニケーションの強化*1
現地会場での開催や、ライブ配信形式を採用し、より多くの
投資家様に向け、当社事業内容を発信

譲渡制限付株式報酬を2025年度も役員・全社員に付与することを決定*2
従業員向け株式報酬は3年連続実施

（2024年度実績）

社内取締役	5名	普通株式	18,900株	処分総額	14,023千円
執行役員	18名		37,535株		27,850千円
従業員	1,242名		167,670株		124,411千円

- **【コンプライアンスの強化】各コンプライアンス・ITセキュリティ研修をeラーニングも用いて強化**
- **【リスク管理の強化】BCP強化　セコム安否確認**

中期3ヵ年計画の施策

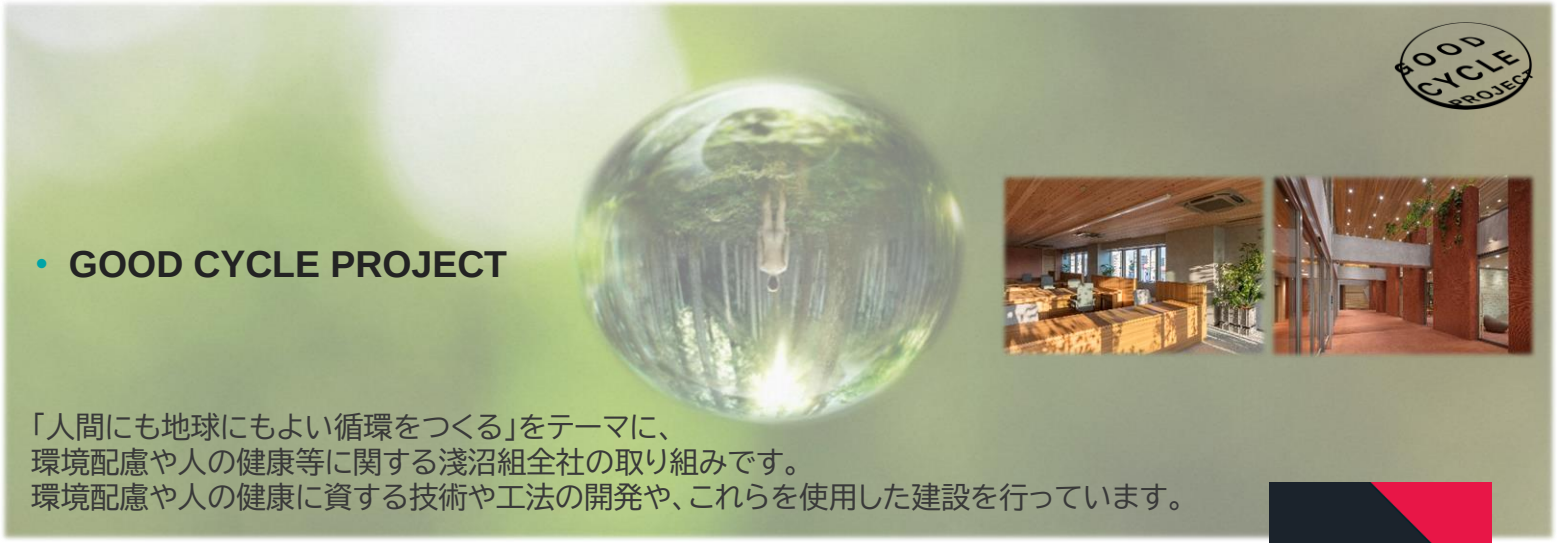
- ガバナンスの更なる強化（海外子会社含む）
- 株主・投資家とのコミュニケーションの強化
- コンプライアンスへの対応、意識の向上
- 安全対策の強化（高年齢労働者）、意識の向上
- 情報セキュリティの体制・システムの強化、意識の向上

*1 株主・機関投資家面談26回、決算説明会（オンデマンド動画含む）3回、個人投資家説明会3回（2024年度）
*2 取締役・執行役員へは2021年度、従業員には2023年度より導入。
2024年度は処分価額742円、払込期日は取締役・執行役員2024年7月26日、従業員2024年9月27日
2025年度は処分価額728円、払込期日は取締役・執行役員2025年7月25日、従業員2025年9月19日を予定

© 2025 Asanuma Corporation.

4.テーマ毎の取り組み（6/6）

	テーマ（3年間で注力すること）	主な取り組み
6	環境・社会への貢献	



- GOOD CYCLE PROJECT

「人間にも地球にもよい循環をつくる」をテーマに、
環境配慮や人の健康等に関する淺沼組全社の取り組みです。
環境配慮や人の健康に資する技術や工法の開発や、これらを使用した建設を行っています。

- **SBT[*1]イニシアチブ（SBTi）にコミットメントレターを提出**
- **CDP[*2]「気候変動レポート2024」にて「B」スコアの評価を受領**
  2022年度より回答を始め、2023年度に引き続き「B」スコアの評価
- 作業所仮設電気・自社ビル3拠点（技術研究所、名古屋支店、東北支店）に「再生可能エネルギー100%電力」を導入

CO2削減へ

中期3ヵ年計画の施策

- 環境配慮・循環・健康に関する取組み推進
- 環境配慮等の高付加価値な設計・資材等の提案
- SBT認定[*1]の取得
- 建築技術における健康科学の検証と展開
- ZEB・ZEH推進基盤の整備・強化

*1 SBTとは「Science Based Targets」の略であり、パリ協定が求める水準と整合した、5年～10年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと（出展: 環境省HP）。外部機関による認証を取得予定
*2 CDPとは世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する非営利団体で、多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するためにCDPのシステムを活用している

© 2025 Asanuma Corporation.

中期3ヵ年計画　業績計画

- 建築・土木（単体）ともに繰越工事高は増加しているものの、人手とのバランスや景気の不透明感を加味し、中期3ヵ年計画最終年度である2026年度売上高計画は2023年度対比減少にて据え置き
- 利益率は、引き続き選別受注の強化、リニューアル事業等の利益率の高い領域の強化、生産性向上等により、増加計画を維持
- 株主還元方針である配当性向70%以上に則り、毎期増配計画。引き続き資本効率を意識した経営を行いPBRは1倍以上を維持

（単位：百万円）

		2023年度 実績 前中期3ヵ年計画 最終年度	2024年度　実績 中期3ヵ年計画 1年目	2025年度　計画 中期3ヵ年計画 2年目	2026年度　計画 中期3ヵ年計画 3年目	2023年度実績対比のコメント
連結	売上高	152,676	167,005	170,300	**151,000**	• 施工効率の高い倉庫等の案件獲得は一服、人手不足や景気の不透明感加味し、売上高は微減（▲1.1%）
	売上総利益	14,149	17,991	18,320	**17,200**	• 引き続き選別受注の強化、リニューアル事業等の利益率の高い事業の強化、DX推進等による業務効率化により、売上総利益率増加（+2.1P） • 人件費高騰等を加味するも、営業利益率も増加する計画（+1.5P）
	同率	9.3%	10.8%	10.8%	**11.4%**	
	営業利益	4,057	6,867	7,030	**6,400**	
	同率	2.7%	4.1%	4.1%	**4.2%**	
	親会社株主に帰属する当期純利益	4,670	4,692	4,770	**4,900**	
	純資産*1	47,622	45,708	47,000	**49,800**	• 利益により着実に積み上げ
ROE		10.2%	10.1%	10.3%	**10.0%**	• ROE・ROIC共に株主資本コスト5.5%・WACC4.1%*2以上を維持、資本効率を意識した経営を継続 • ROEは2023年度の一過性の要素*3を排除し、減少（▲0.2P）
ROIC		4.5%	7.1%	7.2%	**6.8%**	
PBR		1.34倍	1.23倍	―	**―**	
配当性向		70.0%	70.4%	70.1%	**70.0%**	• 配当性向は前中期計画に引き続き70%を維持する • 配当額については、2026年度に向け毎期増配計画
配当（額）		40.6円 （203.0円）*4	41.0円*5	41.5円	**42.5円**	

*1 非支配株主持ち分除く
*2 2025年3月31日基準。CAPMにて算出
*3 2023年11月8日付「固定資産の譲渡および特別利益（固定資産売却益）の計上に関するお知らせ」にて開示の通り、売却益が含まれた利益
*4 株式分割前の金額
*5 2024年度より中間配当制度を導入。配当金額41.0円の内、第2四半期末に15.0円の中間配当を実施（効力発生日は2024年12月3日）

© 2025 Asanuma Corporation.

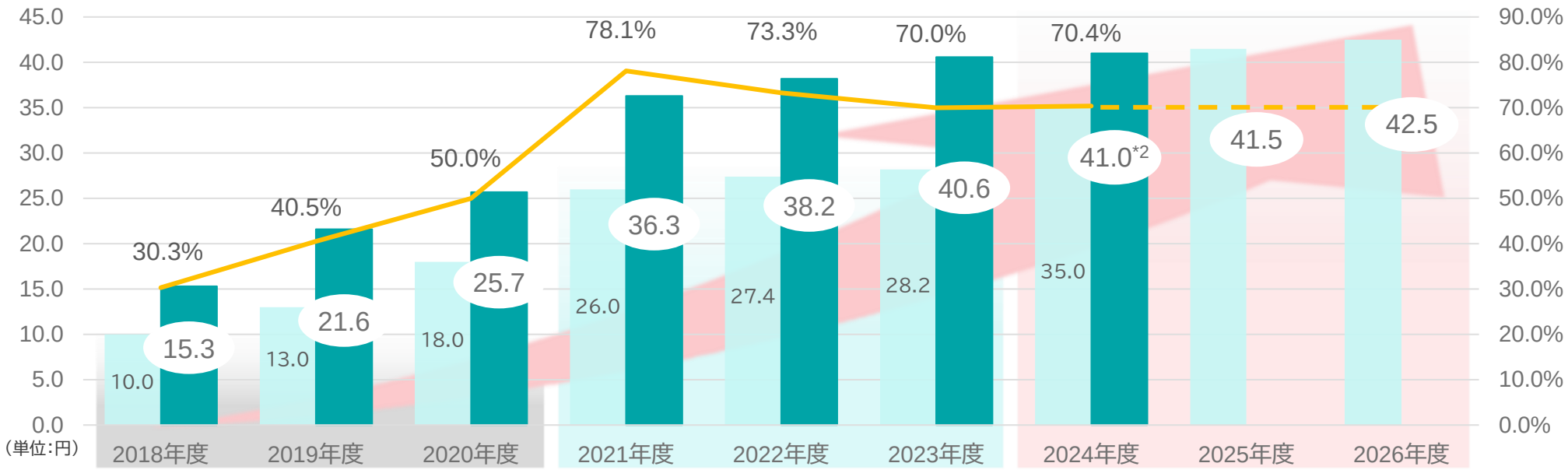
3 株主還元

© 2025 Asanuma Corporation.

株主還元

- 配当は、9期連続で増配予定
- 現中期3ヵ年計画の株主還元計画は、「配当性向70%以上の維持」。
  更に、株式を購入しやすい環境とすべく、株式の分割と中間配当制度を導入

配当金額・配当性向推移



*1 2018/10/1株式併合(10株→1株)、2022/8/1株式分割(2分割)、2024/8/1株式分割(5分割)を実施しているため、記載金額は割合調整を実施
*2 中間配当15.0円、期末配当26.0円
*3 2018年度、2021年度、2024年度を初年度とした各中期3ヵ年計画にて開示した当初の計画。但し、2025年度の配当金額は中期3ヵ年計画にて開示していないため、2025/5/14付の決算短信にて開示した予想金額を記載

中期3ヵ年計画

方針	効果的な投資への資金を確保しつつ、前中期3ヵ年計画での配当基準である**「配当性向70%以上」**を維持
配当基準	基準: **配当性向70%以上**
配当額(円)	最終年度 **42.5円**
その他	・**株式を分割(5分割)**(効力発生日:2024年8月1日) ・**中間配当制度を導入**(2024年度年間配当金額41.0円の内、第2四半期末に15.0円の中間配当を実施)

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）1/7

① 前中期3ヵ年計画の業績・財務内容（2021年度～2023年度）

- 良好な受注環境を背景に売上高は堅調に推移
- 直近期は資材・労務高や賃上げ等による利益率減少なるも、シンガポールM&A子会社の好調な業績が下支え
- 配当は当初計画した金額を確保し配当性向70%以上、PBRは直近期1倍以上を確保。資本効率の面でも一定の成果有

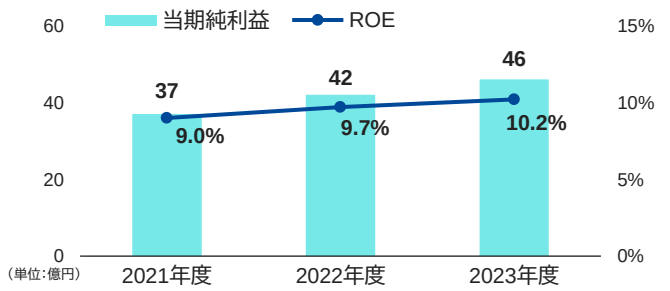
外部環境

- 初年度は新型コロナウイルス禍による活動の制約はあったものの、2023年5月には5類感染症への移行に伴い、個人消費・インバウンド需要が回復。国内設備投資需要上昇もあり、受注環境は堅調に推移
- ロシアによるウクライナ侵攻によるサプライチェーンの混乱により資材価格は高騰
- 作業所従事者の高齢化に伴う人員不足、及びそれに伴う労務費の高騰

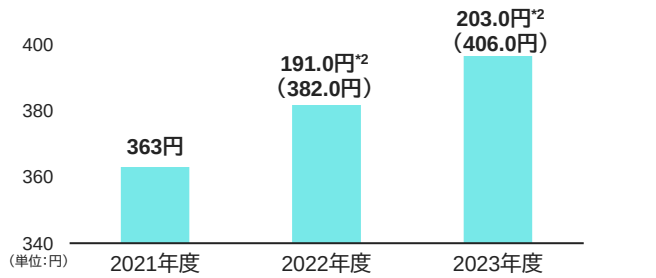
業績・財務 （連結）

（単位：百万円）	2021年度	2022年度	2023年度	
売上高	135,478	144,436	152,676	良好な受注環境や施工効率の高い倉庫等の案件増加により堅調推移
営業利益	4,835	5,691	4,057	資材・労務の高騰による粗利益率減、賃上げ対応による販管費増
同率	3.6%	3.9%	2.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,748	4,200	4,670	• 2023年度は固定資産売却による特別利益*1もあり、当期利益は増益。配当は3期共に計画の金額を確保し、配当性向も高水準を維持 • 2023年度の配当については期初計画（197.5円）より増配
配当	363円	191円*2（382円）	203円*2（406円）	
配当性向	78.1%	73.3%	70.0%	
ROE	9.0%	9.7%	10.2%	それぞれ株主資本コスト・WACC*3を各期共に上回る水準を維持
ROIC	6.4%	7.3%	4.5%	
PBR	0.95倍	1.14倍	1.34倍	直近2期は1倍以上を維持

親会社株主に帰属する当期純利益



配当



*1 2023年11月8日付「固定資産の譲渡および特別利益（固定資産売却益）の計上に関するお知らせ」にて開示の通り、売却益が含まれた利益
*2 2022年8月1日を効力発生日として実施した株式分割（普通株式1株につき2株の割合）を考慮した金額を記載
*3 株主資本コストは、2021年度7.5%、2022年度5.5%、2023年度4.9%。WACC（資本コスト）は、2021年度6.1%、2022年度4.7%、2023年度4.1%

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）2/7

1 KPIの算出方法・過去実績

	テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI	算出方法・過去実績	
1	国内コア事業の強化	顧客満足度スコア **80点以上（直近2期平均）**	算出方法	● 工事成績評定受領先（官庁工事が主） ・ 評定の点数を顧客満足度スコアとする ● 顧客満足度アンケート実施先（民間工事が主） ・ 各設問における回答を右表の通りのスコアに読み替え、平均値を算出 ・ 工事成績評定受領先のスコアとの乖離を埋めるため、上記にて算出した平均値に0.85の掛け目をつけて補正（掛け目は過去実績に基づき算出） ・ 当該年度のアンケート結果を全て受領するまで時間を要すため、当該年度の評価は、当該年度および前年度の2期平均値を適用
			過去実績	● 2022・2023年度平均： 79.7点 ● 2023・2024年度平均： 79.9点
2	リニューアル事業の強化	連結営業利益におけるリニューアル営業利益 **40%以上**	算出方法	● リニューアル営業利益（国内・国外）÷連結営業利益（海外リニューアル営業利益についてはのれん金額をマイナス） ● 今後のASEANリニューアル会社M&Aを加味した数字
			過去実績	● 2023年度： 68% （シンガポール子会社の業績が好調だったものによる） ● 2024年度： 45.3%
3	人材の獲得・確保・育成	エンゲージメントスコア **70点以上**	算出方法	● ストレスチェック（全社員対象）において、エンゲージメントに関わる4項目の設問で、回答の4段階の内、上位2つ（下記①②）の割合を点数化 回答：①とても当てはまる ②まあまあ当てはまる ③あまり当てはまらない ④全く当てはまらない
			過去実績	● 2023年度： 68.1点 ● 2024年度： 69.6点

アンケート実施先

アンケート回答	スコアへの換算
満足	100点
やや満足	85点
普通	70点
やや不満	55点
不満	40点

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）3/7

	テーマ（3年間で注力すること）	財務・非財務 KPI	算出方法・過去実績
4	DX推進	労働1時間あたりの売上総利益 6,000円以上	算出方法： ● 売上総利益（連結）÷全社員の労働時間（個別） 過去実績： ● 2023年度：5,230 円 ／労働1時間あたり ● 2024年度：6,722 円／ 労働1時間あたり
5	ガバナンス・コンプライアンス・リスク管理の強化	重大な法令違反件数 0件 死亡災害 0件	算出方法： ● 重大な法令違反件数 ・「重大な法令違反」に法的な定義はないことから、当社では原則として下記の通り定義付ける（但し個別性が高いため案件毎に都度判断） ▶ 社会や自社に多大な影響を与える法令違反 ▶ 刑事上・行政上の処分（公表されるもの）を受けるに至った法令違反 ● 死亡災害件数 ・ 1回の災害で複数名亡くなれば、その人数を件数としてみなす（行政報告等のルールに準拠） 過去実績：

年度	重大な法令違反	死亡災害
2023	0件	1件
2024	0件	0件

6 環境・社会への貢献

CO2排出量総量削減率

スコープ1+2
△75%
（1990年度比）

スコープ3 カテゴリ11
△8%
（2021年度比）

算出方法：
● 元より設定していた2030年度・2050年度目標より逆算し、2026年度目標を設定（%は基準年度対比での削減率）

過去実績：

対象	単位		基準年度 年度	基準年度 排出量	実績 2024年度	中期計画*2 2026年度	中長期目標 2030年度	中長期目標 2050年度
スコープ1・2（建設工事のみ対象）	原単位	t-CO2/億円*1	1990	30	12.6 ▲58.0%	13.8 ▲54%	12 ▲60%	3 ▲90%
	総量	t-CO2	1990	74,193	19,557 ▲73.6%	18,548 ▲75%	16,322 ▲78%	3,710 ▲95%
スコープ3 カテゴリ11（自社設計＋他社設計）	総量	t-CO2	2021	693,428	366,658 ▲47.1%	637,953 ▲8%	589,414 ▲15%	450,728 ▲35%

参考：CO_2のカテゴリー

- **スコープ1**
  事業活動で発生するCO_2
- **スコープ2**
  電気ガスの使用による間接排出のCO_2
- **スコープ3 カテゴリ11**
  お客様にお引渡しした建築物の使用時に排出されるCO_2

*1 完工高1億円当たりの排出量
*2 中期計画（2026年度）は、基準年度から中長期目標までの直線上での数値にて目標を設定

© 2025 Asanuma Corporation.

③ 長期ビジョン・経営方針等の見直し

- 2024年4月、中期3ヵ年計画スタートのタイミングで、長期ビジョンを「創業140年時点でありたい姿」と定義付けをし内容を変更
- その他経営方針等についても、改めて定義付けし、時代や現業に沿った内容、且つシンプルにすべく、一部項目の削除・内容や表現の変更を実施

		現状	定義	今後
創業理念		「和の精神」「誠意・熱意・創意」	不変 創業者の考え	「和の精神」「誠意・熱意・創意」
企業コンセプト		イメージ目標：人間的共感性、先進的創造性、広域的発展性	削除	-
長期ビジョン		目指すは、外部環境の激しい変化に対し、独自性を発揮し果敢に挑戦し続ける企業	変更 創業140年時点[*1]でありたい姿	顧客・協力会社、株主、社員の満足度の向上、及び地球環境・社会への貢献に邁進する企業
経営方針	基本理念	創業理念である「和の精神」「誠意・熱意・創意」のもと、「仕事が仕事を生む」の精神に則り、誠実なモノづくりに専心し、社会の安全・安心・快適の増進に寄与します。	変更 会社の考え	「仕事が仕事を生む」の信念の下、誠実なモノづくりに専心します。 ・社会の安全・安心・快適の増進に貢献します。 ・技術力・知力・感性を磨きます。 ・現場・現物・現人主義を貫きます。 ・堅実経営に徹します。
	基本方針	①基本理念に則った事業活動を通じ、お客さまをはじめとする、あらゆるステークホルダーから信頼され、選ばれ、そして感謝される企業を目指します。 ②変化する社会やお客様のニーズに柔軟に対応するための技術力、知力、感性を磨き、組織力を以て事業を継続、発展させます。 ③机上の議論より実践を重んじ、現場・現物・現人を見極め、的確かつ迅速にことにあたります。 ④法令と社会のルールを遵守し、公正な堅実経営に徹します。		
コーポレート・スローガン		誇れる歴史がある 創りたい未来がある	不変 標語・モットー・キャッチコピー	誇れる歴史がある 創りたい未来がある

*1 2031年度（2032年1月20日）

© 2025 Asanuma Corporation.

Appendix（別紙）5/7

④ 2025年3月期　業績(連結)

受注高：　国内建築における工場・倉庫等の大型案件受注等により、対期初計画大幅増（+28%）。対前期では概ね同水準（+1.8%）
売上高：　工事の順調な進捗により、期初計画比増（+8.7%）、前期比増（+9.4%）
利　益：　受注時の資材・労務費及び施工体制等を考慮した「選別受注」により、売上総利益率が大幅に改善（前年比＋1.5P、計画比+0.3P）。結果、各利益額が計画を上回った
配　当：　上記の結果、期初計画　35.0円/株から　41.0円/株に増配（+6.0円/株）、前期比増となった

■損益計算書

	2023/3期	2024/3期	2025/3期			
	実績	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	144,743	177,366	141,200	**180,624**	3,258	39,424
売上高	144,436	152,676	153,660	**167,005**	14,328	13,345
完成工事高	141,758	149,415	152,500	**163,661**	14,245	11,161
その他	2,678	3,261	1,160	**3,344**	82	2,184
売上総利益	15,139	14,149	16,100	**17,991**	3,842	1,891
率	10.5%	9.3%	10.5%	**10.8%**	1.5P	0.3P
完成工事利益	14,341	13,161	15,750	**17,081**	3,920	1,331
率	10.1%	8.8%	10.3%	**10.4%**	1.6P	0.1P
その他利益	797	988	350	**909**	△78	559
率	29.8%	30.3%	30.2%	**27.2%**	△3.1P	△3.0P
販管費	9,447	10,091	10,170	**11,124**	1,032	954
営業利益	5,691	4,057	5,930	**6,867**	2,810	937
率	3.9%	2.7%	3.9%	**4.1%**	1.4P	0.2P
経常利益	5,918	4,306	5,820	**6,545**	2,239	725
率	4.1%	2.8%	3.8%	**3.9%**	1.1P	0.1P
親会社株主に帰属する当期純利益	4,200	4,670	4,020	**4,692**	21	672
率	2.9%	3.1%	2.6%	**2.8%**	△0.3P	0.2P
配当（実績・予定）	※ 38.2円	※ 40.6円	35.0円	**41.0円**	0.4円	6.0円
配当性向	73.3%	70.0%	70.3%	**70.4%**	0.3P	0.1P

※　当社は、2024年8月1日を効力発生日として、普通株式１株につき５株の割合を持って分割しました。
2023年3月期、2024年3月期の1株当たりの配当実績については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。

	2024/3期 実績	2025/3期 実績
投下資本利益率（ROIC）	4.5%	**7.1%**
自己資本利益率（ROE）	10.2%	**10.1%**
自己資本比率	47.0%	**39.7%**

	2024/3期 実績	2025/3期 実績
資本コスト（WACC）	4.1%	**4.1%**
株主資本コスト	4.9%	**5.5%**

■貸借対照表

（単位：百万円）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	
	実績	実績	実績	前期比
資産合計	93,034	101,251	**115,240**	13,988
流動資産	76,719	83,229	**97,664**	14,434
固定資産	16,315	18,022	**17,576**	△446
負債合計	48,367	52,545	**69,102**	16,556
内　借入金（社債含）	10,332	14,984	**21,558**	6,573
流動負債	35,190	45,181	**52,885**	7,704
内短期借入金（社債含）	1,808	12,126	**9,946**	△2,180
固定負債	13,176	7,363	**16,216**	8,852
内長期借入金（社債含）	8,524	2,858	**11,611**	8,753
純資産	44,667	48,705	**46,138**	△2,567
株主資本	42,646	44,251	**42,411**	△1,840
その他の包括利益	1,352	3,371	**3,296**	△74
非支配株主分	668	1,083	**430**	△652

■キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354	△3,169	**5,184**	8,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	934	2,649	**△784**	△3,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,661	1,410	**△913**	△2,323
現金及び現金同等物の期末残高	11,796	13,031	**16,833**	3,801

© 2025 Asanuma Corporation.

5 近年の主な受賞作品

淺沼組名古屋支店改修PJ	日本デザイン振興会 グッドデザイン賞 2022･ベスト100
嘉麻市庁舎建設工事	公共建築賞･優秀賞 2024 福岡県木造･木質化建築賞 2021 日本コンクリート工学会賞 2020 ウッドデザイン賞 2020
グランダ稲村ケ崎鎌倉碧邸	日本デザイン振興会 グッドデザイン賞 2019
京都大学稲盛財団記念館	日本建設業連合会　BCS賞 2010
宮内庁正倉院事務所	公共建築協会　公共建築賞 2014 日本建設業連合会　BCS賞 2010
龍谷大学龍谷ミュージアム	公共建築協会公共建築賞 2016

6 建築リニューアル(国内外合計)実績

	2022年度	2023年度	2024年度		
(単位:百万円)	実績	実績	実績	前期比	計画比
営業利益	1,762	2,780	3,111	331	1,102
営業利益シェア	31.0%	68.5%	45.3%	―	―
内、国内　建築リニューアル					
受注高	17,553	34,737	17,285	▲17,452	▲2,715
完成工事高	17,376	19,888	24,193	4,306	1,193
営業利益	860	1,096	2,312	1,215	1,016
営業利益シェア	15.1%	27.0%	33.7%	―	―
内、ASEANリニューアル					
受注高	8,812	9,344	5,885	▲3,459	685
完成工事高	10,885	9,785	9,680	▲105	480
営業利益*2	902	1,683	799	▲885	87
営業利益シェア	15.9%	41.5%	11.6%	―	―

© 2025 Asanuma Corporation.

⑦ ガバナンス強化

● 保有株式への対応

- 上場株式の保有適否判断基準を設定し、毎期首の取締役会で確認、銘柄数縮減を実現
  ⇨基準：配当と工事粗利益の便益が株主資本コストを下回る場合に減縮
- 2025年3月末時点の上場株式残高　55.2億円　連結純資産比率　11.9%

● 取締役会の実効性評価

- 外部機関による実効性評価を継続実施（2019年度より）
- 評価は各期共に平均以上

⑧ 投資内容

（単位：億円）

	2021-23 前中期計画 実績	2024-26 中期計画
投資内容	46	**70**
①リニューアル事業の強化	41	**57**
国内リニューアルブランド「ReQuality」の推進	12	**10**
ASEAN地域でのリニューアル事業の強化	29	**47**
②DX推進・システム基盤強化	5	**10**
③技術の増強（技術研究所改築、技術開発）	-	**3**

- 今中期3ヵ年計画においては70億円の投資を計画
- 前中期3ヶ年計画に引き続き重要領域であるリニューアル事業、DX、技術への投資を継続・強化

© 2025 Asanuma Corporation.

MEMO

© 2025 Asanuma Corporation.

MEMO

© 2025 Asanuma Corporation.

MEMO

© 2025 Asanuma Corporation.

株式会社 浅沼組

お問合せ先

株式会社 浅沼組
戦略企画本部
コーポレート・コミュニケーション部

MAIL asanuma_ir@asanuma.co.jp
TEL 06-6585-5500
FAX 06-6585-5556

浅沼組統合報告書2024

https://www.asanuma.co.jp/csr/report.html

コーポレート インスタグラム

ASANUMA_OFFICIAL

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。